

# 授業科目 保健統計学

| 【担当教員名】<br>遠藤 和男   | 対象学年   | 3     | 対象学科                      | 理学・作業・言語・看護   |
|--|--|-------|---------------------------|---------------|
|  | 開講時期   | 前期    | 必修選択                      | 必修            |
|  | 単位数  | 2     | 時間数                       | 30            |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】   |  |       |                           |               |
| 知識・理解  | 思考・判断  | 関心・意欲 | 態度                        | 技能・表現         |
| ◎  | ◎  | ○     | ○                         | ◎             |
| 【概要・一般目標：G10】<br><概要><br>保健・医療分野において用いられている独特の用語や定義を理解し、卒業研究や卒後現場でも応用できる統計学の方法を学習する。医療の現場でも重視されている、EBM(Evidence-based Medicine)の基礎についての修得を目指す。<br><一般目標：G10><br>証拠に基づいた医療であるEBM(Evidence-based Medicine)を用いたチーム医療に参加するために、保健・医療分野で用いられる統計学的手法を理解し、正しい方法を適用できる。 |  |       |                           |               |
| 【行動目標：SBO】   |  |       |                           |               |
| 1. 証拠に基づいた医療であるEBMの重要性を説明できる。<br>2. 疫学研究で用いられる指標を列挙できる。<br>3. コンピュータ学習(CAD)に積極的に参加する。<br>4. 正しい統計学的な検定方法を選択できる。<br>5. 適用した検定結果について正しく判断できる。<br>6. 常に証拠に基づいて議論する習慣を身につける。   |  |       |                           |               |
| 回数   | 授業計画・学習の主題   | SBO番号 | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員      |               |
| 1  | データの代表値、散布度について学ぶ。   | 2     | 講義と小テスト、担当：遠藤 和男          |               |
| 2  | 度数分布表及びヒストグラムの描き方を演習する。  | 2,3   | 演習（助手またはATが応援）、担当：遠藤 和男 他 |               |
| 3  | 統計学的な検定の手順及び基本的な統計分布の意味を学ぶ。  | 1     | 講義と小テスト、担当：遠藤 和男          |               |
| 4  | 2群の平均値の比較について様々な方法について演習する。  | 3-6   | 演習（助手またはATが応援）、担当：遠藤 和男 他 |               |
| 5  | 保健衛生の指標及び率の調整方法について学ぶ。   | 1     | 講義と小テスト、担当：遠藤 和男          |               |
| 6  | 年齢調整法のうち、標準化死亡比を用いて演習する。   | 3-6   | 演習（助手またはATが応援）、担当：遠藤 和男 他 |               |
| 7  | 疫学研究のさまざまな型と実際に用いられる指標について学ぶ。  | 2     | 講義と小テスト、担当：遠藤 和男          |               |
| 8  | 後向き調査の手法を用いて、食中毒の原因解明について演習する。   | 3-6   | 演習（助手またはATが応援）、担当：遠藤 和男 他 |               |
| 9  | 記述疫学の方法とアンケート調査の実際について学ぶ。  | 1,2   | 講義と小テスト、担当：遠藤 和男          |               |
| 10   | 実際に調査、集計された結果を用いて、分析を行う。   | 3-6   | 演習（助手またはATが応援）、担当：遠藤 和男 他 |               |
| 11   | 地域相関研究の考え方、相関係数の求め方について学ぶ。   | 1,2   | 講義と小テスト、担当：遠藤 和男          |               |
| 12   | 相関係数を求め、地域相関の資料を用いて演習する。   | 3-6   | 演習（助手またはATが応援）、担当：遠藤 和男 他 |               |
| 13   | スクリーニングの基礎である敏感度及び特異度の意義を学ぶ。   | 1,2   | 講義と小テスト、担当：遠藤 和男          |               |
| 14   | スクリーニングの各指標の変化について演習する。  | 3-6   | 演習（助手またはATが応援）、担当：遠藤 和男 他 |               |
| 15   | まとめ（試験対策について）  | 1-6   | 講義、担当：遠藤 和男               |               |
| 【使用図書】   | <書名>   | <著者名> | <発行所>                     | <発行年・価格 他>    |
| 教科書<br>(必ず購入する書籍)  | 保健統計テキスト 改訂版   | 遠藤和男  | 考古堂                       | 2010・2,800円＋税 |
| 参考書  |  |       |                           |               |
| その他の資料   | 必要に応じて統計数値表などを配布する。<br>講義の際にはPptの資料を配布するので、ノート代わりとして活用のこと。   |       |                           |               |
| 【評価方法】   | 【履修上の留意点】<br>※高校の数学B(3)統計とコンピュータの「イ.資料の分析」の所に、代表値、分散、標準偏差が載っています。数学が弱い場合、最低前記について「学習支援センター」で復習しないと、第1回目から確実に落ちこぼれます！「証拠に基づく医療」の基本であり、臨地実習前に必須の考え方ですし、卒論でも応用できる技法が含まれます。<br>*難しいですが、現場ではこれ以上のレベルが求められているのです！必要最低限の知識は覚えること！<br>なお、OT学科とST学科との合同授業となります。 |       |                           |               |
| 1. 奇数回目の最後に小テストを実施する。  |  |       |                           |               |
| 2. 偶数回目にはレポートを提出してもらう。   |  |       |                           |               |
| 3. 筆記試験結果に1、2の内容を考慮して総合的に評価する。   |  |       |                           |               |